

回覧



# ホームページリニューアルのお知らせ



この度ホームページをリニューアルいたしました！

旧 URL をブックマーク(お気に入り登録)されている方は新 URL にご変更お願いいたします。

新 URL : <https://ssl.hokushakyo.jp/yoichi-hospital/>

新ホームページは、皆さまに、より分かりやすく充実した情報をお届けすることを目標として製作してまいりました。今後も引き続きよろしく願い申し上げます。

お知らせの他、外来診療表や入院案内、院内施設のご案内、採用情報など様々なコンテンツをご覧になれますので、受診や入院の際にお役立て下さい。また各セクションや委員会の紹介もありますので、是非一度ご覧になって下さい！



## 新春書初め会

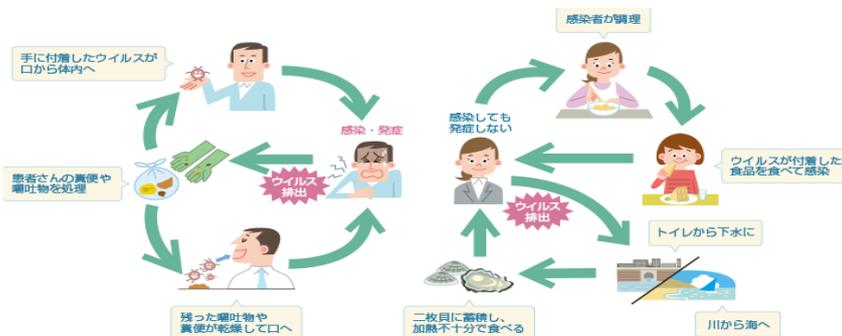
今年も病院職員による新春書初め会がしめやかに行われました。例年より作品数は少ないものの、今年の意気込みが込められた力作が揃いました。毛筆離れた現代においても、年に一度筆を持つというのも良いですね！

# ノロウイルスについて

ノロウイルスは感染性胃腸炎の原因となるウイルスです。主にヒトの手指や食品を介して感染し、おう吐、下痢、腹痛などの症状を引き起こします。また感染力が非常に強く、感染者の吐物や便中に含まれる数百万～数億個のうち、わずか10～100個程度で感染すると言われています。特に保育園や幼稚園、小学校などで集団感染が起こりやすく、感染した子供がウイルスを持ち帰り、あっという間に他の家族に広がってしまうケースも珍しくありません。ご家庭内の感染を防ぐために、ノロウイルスの正しい予防と対策方法をご紹介します。

## どうやって感染するの？

ノロウイルスには、図のような感染経路があります。正しい予防対策のためにも、感染の原因をきちんと把握しましょう。



## 感染すると、どうなるの？

感染すると、1～2日で発症。吐き気、おう吐、下痢、腹痛などを引き起こし、発熱することはあっても、高熱になることはあまりありません。通常、これらの症状が1～2日続いた後、自然に回復しますが、高齢者や子供の場合は、1日に20回以上の下痢をおこし、脱水症状などで入院が必要となることがあります。また、感染しても発症しない場合や、軽い風邪のような症状の場合もあります。しかし、そんな人の便にも発症者と同じほどのウイルスが潜んでいるため、二次感染の予防対策に注意が必要です。

## 感染しないためにはどうすればいいの？

### 1 手洗いをしっかり行いましょう

手洗いは手指に付着しているノロウイルスを減らす最も有効な方法です。帰宅時や調理を行う前、食事前、トイレの後に、流水と石鹸による手洗いを行いましょう。

手洗い不十分になりやすい**指先、指の間、爪の間、親指の周り、手のしわ、手首など**を意識してしっかり洗いましょう。



### 2 食品はしっかり加熱して!!

食事はなるべく火を通したものをいただきます。特に貝類(主に牡蠣、シジミ、アサリなどの二枚貝)はしっかり加熱した状態であれば感染しませんが、生や不十分な加熱状態で食べると感染するリスクが高まります。中心部まで十分加熱調理(85～90℃で90秒以上)しましょう。一般的にウイルスは熱に弱く、加熱によりウイルスは失活します。

### 3 キッチンや調理器具の消毒

調理台や非金属製の調理器具は洗剤などを使用して十分に洗浄した後、次亜塩素酸ナトリウム(0.02%以上)で浸すように拭き取ります。ただし金属を腐食(さび)させる性質があるので、包丁などの金属製調理器具はアルコールによる二度拭き、または、熱湯(85℃で1分以上)による加熱が有効です。

### 4 頻繁に手で触れるものを清潔に保つ

ドアノブや手すり、トイレ、イスなど、家族皆で使用する共有箇所のウイルス除去も大切です。ドアノブや配管類などの金属部に次亜塩素酸ナトリウムを用いて消毒すると、さびが生じ、元には戻せないこともあるので注意しましょう。消毒後、十分に薬剤をふき取るか、もしくは臭いが少なく、プラスチックや金属に対する影響が少ないアルコールでの消毒がオススメです。

## 正しい汚物の処理方法

感染者の便や吐物を間違った方法で処理をすると、二次感染する恐れがあります。十分に注意しながら、スピーディーかつ、確実に行いましょう。便や吐物を処理する場合は、部屋を十分に換気し、使い捨ての手袋やマスクをつけ、タオルやペーパータオルなどで吐物を除去します。その後、次亜塩素酸ナトリウム(0.1%)やアルコールで消毒します。拭き取りに使用したタオルやペーパーなどは、ビニール袋に密閉し、漏れないようにして廃棄しましょう。ノロウイルスは乾燥すると容易に空中に漂い、口に入って感染することがあるので便や吐物を乾燥させないうちに処理することが重要です。



**救急件数 (12月)**

外来受診252件 うち入院49件  
救急車来院82件 うち入院34件